

## 総合テーマ

# 観光とスポーツの経済学

今回のテーマは「観光とスポーツ」です。製造業の少ない北海道において地域の活性化を行うためには、観光は重要な産業といえます。しかし、観光にもいろいろなタイプの観光があります。その中で地域の独自性をもった観光を打ち出していくことが重要と言えます。この講義では、北海道における観光のあり方、各地でどのような取り組みが行われているか、また観光を考える上でどのような視点で考えるべきかをさぐります。

同時に、現在の北海道を盛り上げる要素としてスポーツがあります。欧米ではスポーツを利用して地域の再生、活性化を図った例が見られます。今回は北海道日本ハムファイターズとコンサドーレ札幌の関係者を講師として呼び、スポーツが北海道に与える影響を語っていただきます。

受講料無料/事前申込不要 受講ご希望の方は、当日直接会場までお越しください。

- |             |   |              |  |
|-------------|---|--------------|--|
| 第1回<br>4/15 | ガイダンス、この講義のねらい<br>平澤 亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授                   | 第8回<br>6/10  | 旅と観光の景観論 —景観・デザイン・まちづくり—<br>中井 和子 氏 ●中井景観デザイン研究室代表                                     |
| 第2回<br>4/22 | 北海道観光の現状と課題<br>竹谷 千里 氏 ●北海道経済部観光局国際観光担当局長                 | 第9回<br>6/17  | 運河保存運動が小樽にもたらしたもの<br>～保存運動から雪あかりの路まで～<br>小川原 格 氏 ●株式会社数半代表取締役社長                        |
| 第3回<br>5/6  | 観光のマーケティング<br>佐藤 郁夫 氏 ●札幌大学経営学部教授                         | 第10回<br>6/24 | Sports Community(スポーツコミュニティ)<br>佐藤 拓 氏 ●株式会社北海道日本ハムファイターズ事業本部スポンサーグループ                 |
| 第4回<br>5/13 | 長沼町のグリーン・ツーリズムについて<br>駒谷 信幸 氏 ●長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会会長       | 第11回<br>7/1  | スポーツはすばらしい<br>児玉 芳明 氏 ●株式会社北海道フットボールクラブ相談役   |
| 第5回<br>5/20 | 観光の経済効果(ニセコを事例として)<br>ロス・フインドレー 氏 ●NACニセコアドベンチャーセンター代表取締役 | 第12回<br>7/8  | まちづくりマジックの種明かし<br>坂本 和昭 氏 ●坂本ビル株式会社・坂本商事株式会社代表取締役                                      |
| 第6回<br>5/27 | エコツーリズムと自然学校という仕組み<br>高木 晴光 氏 ●NPO法人ねおす理事長                | 第13回<br>7/15 | 観光まちづくりにおける着地型ツアーの可能性<br>ワイナリーツアー・ボランタリーツアー・麦チェンツアー<br>かとう けいこ 氏 ●シーニックバイウエイ支援センター広報部長 |
| 第7回<br>6/3  | 地域資源を活用する観光戦略<br>河西 邦人 氏 ●札幌学院大学経営学部教授                    | 第14回<br>7/22 | 国を救った観光産業<br>観光先進国シンガポールの観光政策<br>中鉢 令兒 氏 ●北海商科大学商学部教授                                  |
|             |   | 第15回<br>7/29 | 美瑛町の観光と農業、最後のまとめ<br>平澤 亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授  |

会場/札幌学院大学 B201教室 (B館2階)

講義時間/13:10~14:40

コーディネーター/平澤 亨輔(札幌学院大学経済学部教授)

主催/札幌学院大学 経済学部

●お問い合わせ先

札幌学院大学教務課(経済学部係)

〒069-8555 江別市文京台11番地

☎011-386-8111(内線3212,3222)

[URL]http://www.sgu.ac.jp

**第1回 (4月15日) 平澤 亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授**

**ガイダンス、この講義のねらい**

長野県出身。北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位修得退学。1984年札幌学院大学商学部助教授、1999年札幌学院大学経済学部教授。専門は都市経済学。

**第2回 (4月22日) 竹谷 千里 氏 ●北海道経済部観光局国際観光担当局長**

**北海道観光の現状と課題**

倶知安町出身。北海道大学法学部卒業。1978年北海道入庁、1995年企画振興部地域振興課主査(一村一品運動)、2000年経済部観光振興課課長補佐、2002年総合企画部地域振興室市町村課課長補佐、2007年知事政策部知事室広報聴講課課長、2010年経済部観光局国際観光担当局長、現在に至る。趣味は旅行と水泳、現在、週に1~2回スポーツジムで汗を流している。

**第3回 (5月6日) 佐藤 郁夫 氏 ●札幌大学経営学部教授**

**観光のマーケティング**

北海道出身。上智大学法学部卒業。1981年4月昭和石油入社、1985年1月昭和シェル石油へ社名変更、1988年(財)日本エネルギー経済研究所に留学、1990年7月北海道銀行に移る。1996年札幌大学経営学部に移り、現在に至る。この間に米国2大学、東京大学の客員研究員を務める。博士(経済学)。

**第4回 (5月13日) 駒谷 信幸 氏 ●長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会会長**

**長沼町のグリーン・ツーリズムについて**

長沼町出身。空知農業学園高等学校卒業。1966年4月より農事組合法人駒谷農場理事、現在に至る。経営状況：長沼農場～田62ha、畑7ha・様似牧場～肉用牛100頭。2005年2月より長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会会長。2009年8月日韓農業シンポジウム地域フォーラムin長沼(主催：北海道農業研究会)、11月東京農業大学千歳会記念セミナー(主催：東京農業大学千歳会)、2010年12月明治飼料(株)ユーザー会主催等で講演。趣味はハンティング(熊・鹿)。

**第5回 (5月20日) ロス・フィンドレー 氏 ●NACニセコアドベンチャーセンター代表取締役**

**観光の経済効果(ニセコを事例として)**

オーストラリア出身。キャンベラ大学スポーツスタディ卒業。1995年3月ラフティングをはじめ、通年を通じたアクティビティを提供するNACニセコアドベンチャーセンターを設立。2008年にNAC札幌店オープン。世界各国でのスキーインストラクター/ガイド、スポーツテスター、フィットネスプログラマー、身体障害者のためのスポーツコーディネーターとしての経験だけでなく、趣味でもサッカー、空手、水泳、陸上、スキー、カヤック、ロードバイクなど様々なスポーツに取り組んでいる。北海道のフィールドを活かしたアウトドアアクティビティを通して地域の魅力を引き出し、また地域の活性化につながればとの思いで常に新しい視点で「楽しさ」を発掘しつづけている。2004年にはニセコの夏の観光シーンに多大な影響をもたらした功績が認められ、国土交通省より外国人で初の観光カリスマとして観光カリスマ百選に認定された。他にも多数の委員を務め、地域に新しいビジョンを送り込んでいる。

**第6回 (5月27日) 高木 晴光 氏 ●NPO法人ねおす理事長**

**エコツーリズムと自然学校という仕組み**

札幌市出身。北海道大学農学部農業工学科卒業。1980年～1988年(株)札幌オーバースイズコンサルタント。1988年～1991年(株)丸増グループ。1991年～1997年(株)社会教育総合研究所、1992年～1997年同研究所関連事業として北海道自然体験学校NEOS設立、1997年7月北海道自然体験学校NEOS独立(1999年4月NPO法人登記)、現在に至る。

**第7回 (6月3日) 河西 邦人 氏 ●札幌学院大学経営学部教授**

**地域資源を活用する観光戦略**

東京都出身。青山学院大学大学院経営学研究科博士後期課程退学。1988年～1990年カウンティナットウエスト証券会社勤務。1990年～1991年クレディスイス東京支店勤務。1992年～1994年東京商科学院勤務。1997年～札幌学院大学勤務。北海道公益認定等審議会会長、北海道コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス協議会会長。趣味はスノーボードとウインドサーフィン。

**第8回 (6月10日) 中井 和子 氏 ●中井景観デザイン研究室代表**

**旅と観光の景観論 ―景観・デザイン・まちづくり―**

東京都出身。筑波大学大学院環境デザイン専攻修了。(株)G.K.インダストリアルデザイン研究所(東京)勤務後、フランス政府給費留学生としてマルセイユ国立建築美術大学及びパリ国立美術大学留学、中井景観デザイン研究室代表、現在に至る。主な著書として「まちの色彩作法(共著)」や「北のランドスケープ―保全と創造―(共著)」。趣味は「景観・まち・歩き」の旅行、フランス映画、JazzとClassic音楽。

**第9回 (6月17日) 小川原 格 氏 ●株式会社数半代表取締役社長**

**運河保存運動が小樽にもたらしたもの～保存運動から雪あかりの路まで～**

小樽市出身。芝浦工業大学建築工学科入学。1973年4月芝浦工業大学生協宣伝部入社、1974年4月株式会社数半入社、1983年株式会社数半専務取締役就任、1984年株式会社数半代表取締役就任、現在に至る。小樽蕎麥商組合副組合長、北海道麺類飲食業生活衛生同業組合副理事長、北海道麺類飲食業生活衛生同業組合特別相談員。1997年小樽まちづくり協議会・事務局長、2004年国土交通省・観光カリスマ(第6次選定)、2006年後志地域総合情報誌「BYWAY後志発刊委員会・代表」、2007年(社)小樽観光協会・理事・観光まちづくり委員、2007年内閣官房都市再生本部地域活性化ナビゲーター、2007年経済産業省・地域中小企業サポーター、2009年小樽・雪あかりの路実行委員会・相談役、2009年有限責任中間法人・しりべしツーリズムサポート・業務執行理事、2010年小樽市観光プロジェクト推進会議・委員委嘱。

**第10回 (6月24日) 佐藤 拓 氏 ●株式会社北海道日本ハムファイターズ事業本部ソンググループ**

**Sports Community(スポーツコミュニティ)**

奈井江町出身。中央大学総合政策学部卒業。2002年4月～2003年12月日本ハム球団(株)、2004年1月より(株)北海道日本ハムファイターズ、現在に至る。営業開発事業部、マーケティンググループ、スポンサーグループを歴任。

**第11回 (7月1日) 児玉 芳明 氏 ●株式会社北海道フットボールクラブ相談役**

**スポーツはすばらしい**

神奈川県出身。中央大学法学部卒業。1959年北海道新聞社入社、外報部長、ワシントン支局長、東京編集局長、本社出版局長、道新スポーツ社長を歴任。2001年広告代理店パブリックセンター特別顧問。2005年北海道フットボールクラブ(コンサドーレ札幌)社長、2008年同相談役、Jリーグ参与。その他、財団法人さっぽろシュリー理事長、NPO法人札幌微助人(びすすけっと)倶楽部会長、北のユニバーサルデザイン協議会理事長、札幌モーニングロータリークラブ前会長、北海道長寿社会推進センター委員。資格として、老犬受託奉仕員、要約筆記奉仕員、福祉有償運転者など。

**第12回 (7月8日) 坂本 和昭 氏 ●坂本ビル株式会社・坂本商事株式会社代表取締役**

**まちづくりマジックの種明かし**

帯広市出身。駒澤大学法学部法律学科卒業。1980年4月坂本ビル(株)、坂本商事(株)入社、1992年5月坂本ビル(株)、坂本商事(株)代表取締役社長就任、現在に至る。1996年3月十勝環境ラボラトリー(TKL)設立、専務就任。2000年2月北の起業広場(協)設立、専務理事就任。2002年10月十勝場所と環境ラボラトリー(BakaLabo)に名称変更。2005年3月観光カリスマ百選に選定。2006年12月十勝場所と環境ラボラトリー解散。2007年3月北の起業広場協同組合専務理事退任。趣味はマジック(歴42年)。

**第13回 (7月15日) かとう けいこ 氏 ●シーニックハイウェイ支援センター広報部長**

**観光まちづくりにおける着地型ツアーの可能性 ワイナリーツアー・ボランタリーツアー・麦チェーンツアー**

足寄町出身。北星学園大学文学部社会福祉学科卒業。北海道経済産業局消費者相談室、道新スポーツ花新聞ほっかいどう創刊編集長を経て2006年よりシーニックハイウェイ支援センター広報部長。北海道景観審議会委員、北海道農業・農村振興審議会委員、(社)北海道造園建設業協会学識理事を歴任。北海道観光人材育成セミナー検討委員・講師(北海道経済部観光局)、観光ブランドアドバイザー(石狩振興局・空知総合振興局)、札幌市観光振興プラン検討会諮議員(札幌市観光文化局)、北海道マリビジョン21審査委員(開発局水産課)他。趣味はテニス、北海道内のワイナリーめぐり、ガーデニング、旅行。

**第14回 (7月22日) 中鉢 令兒 氏 ●北海商科大学商学部教授**

**国を救った観光産業 観光先進国 シンガポールの観光政策**

愛知県出身。北海道大学大学院後期博士課程修了。1974年4月北海道デザイン研究所勤務、1979年4月静修短期大学講師、同助教授、教授を経て、2000年4月札幌国際大学観光学部教授、2001年4月札幌国際大学大学院観光学研究科教授、2010年4月北海商科大学商学部観光産業学教授を歴任、現在に至る。日本観光研究学会、日本都市学会、日本都市計画学会、北海道都市地域学会に所属、2000年4月～2001年3月日本都市計画学会論文審査部委員、2001年4月～2002年3月日本都市計画学会論文審査部委員、2001年12月～2002年3月観光に視点を置いた整備指標検討チームチーフアドバイザー、2007年6月～2009年6月日本都市学会理事、2008年2月より北海道地域都市学会理事。

**第15回 (7月29日) 平澤 亨輔 氏 ●札幌学院大学経済学部教授**

**美瑛町の観光と農業、最後のまとめ**

プロフィールについては、第1回を参照してください。

